

# 頑張れ店長

## アベノミクスは？

世間は「アベノミクス」で賑わっています。デフレ経済を克服するために大胆な金融緩和措置をとる安倍政権の金融政策ですが、さっそく円安と株高で輸出企業や金融資産を持っている人たちに恩恵をもたらしています。そうした恩恵はホールに届いているのでしょうか。各地の店長さんに聞きました。

### そんな勢いは感じない

「昨年からパチスロを中心に持ち直しつつある流れですが、アベノミクス効果というほどの勢いは感じていません。株をやったり、土地を持っている人はウハウハなのではないかと、そういう人はうちの客層ではありませんから。それでも昔の話を聞くと、バブル景気に沸いていた頃はホールもその恩恵を受けて、倍々の勢いで売上が伸びたと言いますから、店としてはバブル大歓迎です」(関東・A店長)

バブル経済はいずれ崩れるからバブルなのですが、「昔のバブル

景気を楽しんでできなかった世代としては一度体験してみたい」とA店長は期待しています。

### 4円勝負へ戻ってきた

「今年に入って来客数は伸びていないのに売上が伸びています。というのは、これまで1円パチンコや5円パチスロを打っていたお客様が4円パチンコや20円パチスロに移っているからです。低価格営業で遊んでいたお客様が、勝っても大して景品を取れないので、高価格営業で勝負しようとする移行しているものと分析しています。それがアベノミクス効果かもしれないですね。しかし、高価格営業に移ってきたお客様が続かなくなったら元に戻ってしまうので、店としては還元率アップに励んでいるところですよ」(中部・B店長)

低価格営業なら1万円もあれば1日中でも遊べるのでしようが、4円パチンコや20円パチスロは下手をすれば1時間で軍資金が底を

ついでしてしまいます。少しでも長い時間遊んでいただくために還元率を上げるというわけですよ。

### 歯がゆいウチの消極策

「うちの店は相変わらず売り上げ横ばい状態ですが、近隣店の中には今年になって頻繁に新台を入れ替えて集客している店があります。朝の行列は伸びているし、稼働率も上昇しています。今のようには期待が先行している時期は会社のトップが決断して、新台の大量投入や増大といった積極投資で勝負に出ているのかと上に進言しています。しかし、業界の低迷が長かったせいもあって、うちの経営陣は『石橋を叩いて渡る』習性になっていくように、現場を預かる店長として歯がゆい思いをしています」(関東・C店長)

新台をドーンと導入したくても本社が首を縦に振らないと叶いません。勝負に出たくても予算がないと勝負に出られないとC店長は言うのです。

### 5%伸び、むしろ強気で

「景気の『気』は気分の『気』で

## 投資からの店長

うちの会社では一昨年からアルバイトの社員化を進めています。本人が正社員になることを希望し、勤務している店の店長が推薦すれば、本社の

人事部の審査の上で社員になる仕組みです。社員もアルバイトも同じように働いているのに身分や賃金が違うのはよろしくないという新社長の方針です。社員の中には、アルバイトだから部下として好きなように使えるのに、社員になると勝手が違うと反対する者もいますが、私としては職場の戦力アップになるので大いに賛成です。アルバイトは何年働いても待遇は同じですが、社員になれば昇進や昇給するのでやる気が違います。これまで私が推薦した5人全員が社員になり、みな将来は店長になることを目指して頑張っています。(関東・A店長)

## 反対の声あるが臨時を社員化してやる気出る効果

反対の声あるが臨時を社員化してやる気出る効果

「景気の『気』は気分の『気』で

すから、アベノミクスで景気が上向くという期待感があれば財布の紐が緩むのではないのでしょうか。うちも3月頃から前年比5%増という感じで売上が伸びています」(中部・D店長)

売上増を支えているのはパチスロなので、パチンコの島の一部をパチスロに転換したそうです。アベノミクスの『3つの矢』の1つは民間



投資を喚起する成長戦略なので、優遇税制で新台導入を促してくれば有り難いのですが。ムリでしょうね。

## 安倍首相を「キャラ」に

「アベノミクス効果ですか？ 店の売り上げには反映されていませんが、このところの株高で景気が良くなっている気配はありますから、いずれホールにも追い風になってくれると期待しています。このところ遊技機メーカーは人気キャラクターを製品化して当たっているので、安倍首相のキャラクターを使って『GOGO!アベノミクス』といった新台を出してもらえば、わが業界も『成長戦略』の波に乗れるかもしれません(笑)」

(中部・E店長)

前代未聞の提案ですが、ヒット機種が登場すれば業界の底上げを図れるのは間違いありません。遊技機メーカーには奮起していただきたいものです。

## メーカーほどでは

「政府のデフレ克服政策に呼応して、従業員の年収アップを打ち出す会社が出ています。遊技機メーカーの中にも年収3%の特別賞与を支給する景気の良いところもあ

ります。うちのようなホール企業は年収アップを期待できませんが、世間の会社が賃上げしてくれると回り回ってホールの売り上げ増につながるのですから、アベノミクスには期待しています」(中国・F店長)

年収がアップすれば消費に回るお金が増えて、ホールもその恩恵を受けるというわけです。しかし、それはだいたい先になるという見方もあります。

## 恩恵数年かかるのでは

「先日、業界のセミナーで聞いたのですが、景気の遅効性といって景気が良くなってもホールの売り上げが伸びるまでには数年かかるそうです。逆に景気が悪くなっても売り上げが低下するのは数年先になるといいます。景気悪化の影響が先延ばしになるのは結構なのですが、景気好転の恩恵をすぐに受けられないのはつらいです」

(関東・G店長)

いつ恩恵を受けられるかわからないアベノミクスへの期待はいわば神頼みのようなものかもしれません。これまで業界が知恵と工夫で逆境を乗り越えてきたように、自分たちの努力でチャンスを作り、ひらきたいものです。